

鴨川市教育委員会 2 月定例会会議録

1 日 時 平成 22 年 2 月 15 日 (月) 開会 午後 3 時 30 分
閉会 午後 5 時 20 分

2 場 所 天津小湊支所 2 階会議室

3 出席委員 (1) 村上 修平 (2) 佐久間秀子 (3) 佐々木久之
(4) 長谷川孝夫

4 出席職員 (1) 福田 典白 (2) 滝口 悦夫 (3) 熊切 隆夫
(4) 久根崎素弘 (5) 岩瀬 英彦

5 委員報告

- ・佐々木委員から、松戸市で行われた千葉県市町村教育委員会連絡協議会教育委員研修会の講演のなかで、教員研修センター理事坂内宏一先生から魅力ある教員として子どもの指導にあたるには研修が不可欠であり、研修を前向きに考える職場風土を醸成しなければならないとの指摘があったこと、自然環境研究センター研修主幹千石正一先生からは自然環境を守ることに興味深いお話を聴くことができたとの報告がなされた。
- ・また、同委員から最近のテレビ番組で、貧困による教育格差の問題、学校管理職希望者の減少、教育委員会制度の機能不全等を取り上げていたとの報告があり、鴨川市の教育においてはこのようなことがないように、今後の方向をしっかりと検討していく必要があるとの意見が出された。
- ・佐久間委員から、ボランティア活動として琴の指導を長狭学園で行った際、子どもたちが琴に興味を持ち、真剣にしかも生き生きと学習に参加してくれたとの報告がなされた。
- ・村上委員から、千葉県市町村教育委員会連絡協議会教育委員研修会における坂内宏一先生の講演のなかで、教員が自分のスタイルを持つとそこからなかなか脱皮できない傾向があるが、管理職はこの点を改善する姿勢をもたなければならないといった指摘があったこと、千石正一先生の講演では、昆虫の話からすべての生物が共存していることについて具体的な話が聴けたとの報告がなされた。
- ・また、来年度の教友会はこれまでのスタイルを変更し、長狭学園の参観等、鴨川市が取り組んでいる教育の現状を直接見ていただき、意見交換を行うことを主に進めたらよいとの意見が出された。

6 教育長報告

- ・長谷川教育長から、各委員からの報告に関連して、日本の教育が他の先進諸国に比べ少ない財政支出のなかで効率の良い教育が行われてきたのは、教員の質のよさに負うところが大きかったこと、本市では教育内容の充実のため小中一貫教育を進めているが、子どもの安全を守るために耐震工事等施設の改修にも努力していく必要があること、教育の活性化のためには教育委員会会議で提案内容や事業内容をチェックしていく必要があるとの見解が示された。
- ・また、行事等の報告として、長狭学園の取組が注目され、県内外からの視察が増えていること、千葉ロッテマリーンズ春季キャンプには 5000 人近くの方が練習を見に来てくれたこと、鴨川中学校等の跡地利用についての住民説明会が行われたこと、子ども向けの郷土史読本「ふるさと鴨川」ができあがり、市内各学校で読本が活用した授業が行われていることについて報告がなされた。
- ・熊切学校給食センター所長から、第 3 回学校給食センター運営委員会で 22 年度事業計画等について話し合われたことについて報告がなされた。
- ・久根崎生涯学習課長から、公民館まつりは「展示の部」「芸能発表の部」とも多くの参加があり盛況であったが、今後参加団体による自主運営ができるようにしていく必要があること、源氏物語講座にはいつもより多い 60 名の参加があったこと、本市に 79 点の絵画を寄贈してくださった山谷鋏一氏が来庁したことについて報告がなされた。
- ・岩瀬スポーツ振興課課長補佐から、千葉ロッテマリーンズ春季キャンプには球団関係者を含めて 62 名の選手等が来鴨したこと、少年野球教室には市内 134 名の小学生が参加したこと、大阪や名古屋など遠くからもファンが駆けつけ、盛況であったとの報告がなされた。

【報告に対する質疑】

- ・質疑はなく、全員の了解が得られた。

7 議 事

- ・今回の定例会には議案の提出がなく、審議はなされなかった。

8 その他

- (1) 滝口学校教育課長から、太海幼稚園の来年度入園申込み者が 1 名のみであったことから、その保護者と相談とした結果、保育園に入園することを希望したため、休園することとなったとの報告がなされた。

- ・村上委員から、休園後の施設管理についての質問があり、滝口学校教育課長より

再開できるように学校教育課で管理していくとの説明がなされた。

(2) 久根崎生涯学習課長から、市嶺岡自然キャンプ場を来年度休止し、将来廃止していくことについて報告がなされた。

- ・村上委員から、休止することの理由に関する質問があり、久根崎生涯学習課長より県南地区にはキャンプ場が数多くあり、本施設の利用者が少ないこと、水道施設が老朽化のため使用できなり、改修には多くの費用がかかること、これまでも赤字経営が続いていたことから、今回の措置を講じたとの説明がなされた。

(3) 久根崎生涯学習課長から、来年度から公民館の運営体制を見直し、これまで館長と用務員で運営していた体制から新たに事務職員を4日間配置し、原則として二人体制で地域の特性やニーズに応じた公民館運営ができるように改善していくとの報告がなされた。

- ・村上委員から、公民館の将来構想に関する質問があり、久根崎生涯学習課長より一部の公民館を貸し館のみの機能に限定することも含めて今後検討していくとの説明がなされた。

(4) 久根崎生涯学習課長から、市立図書館ではこれまでのインターネットによる蔵書検索だけでなく、インターネットによる貸出予約まで行うことになったとの報告がなされた。

- ・佐久間委員から、インターネット予約の市民への周知に関する質問があり、久根崎生涯学習課長より市の広報誌に掲載するだけでなく、新聞社への記事提供や館内掲示なども行うとの説明がなされた。

(5) 各課長から、「3月の教育委員会行事予定」について資料を基に説明がなされた。また、滝口学校教育課長より第1回臨時教育委員会会議を3月10日午後4時から、3月の定例教育委員会会議を3月23日午後3時からそれぞれ天津小湊支所会議室で開催することになった。

- ・村上委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成22年3月23日

鳴川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

教育次長

会議録作成者 福田典白